



「みなさんの来場から感謝いたします」

ささなみまちじゅうまつ実行委員長 刀孫千恵子

師走を迎え今年も残すところ一ヶ月となり、たいくち寒せわしくなつてまいりました。少し前とは違い、寒さを感

じる目が続くようになつてまいりました。お天気が気になるころですが、今

回は特に予報が良くなかつたことも

あり、心配は尽きませんでした。

今回、より多くの集客を目的にも

ちまきの回数を2回設けることにし

ました。実際のところ、オープンイン

グはこれまでも見ただき、『もちま

き』の人気の高さに圧倒されたのは、

言うまでもありません。また、もう一

つの目玉として企画させていただきました

秋山紗希さんと中村結さんのコラボ

アステージについても、室内開催となり

しらせていただいております。

ことができました。

まの協力により、概ね無事開催する

られたところもありましたが、みなさ

みまちじゅうまつ」を、一部雨にだた

だが、去る1月7日には「秋のささな

じる目が続くようになつてまいりました。

いりました。少し前とは違い、寒さを感

月となり、たいくち寒せわしくなつてま

師走を迎え今年も残すところ一ヶ月

屋外のイベントとなりますと、やは

りお天気が気になるころですが、今

回は特に予報が良くなかつたことも

あり、心配は尽きませんでした。

今回、より多くの集客を目的にも

ちまきの回数を2回設けることにし

ました。実際のところ、オープンイン

グはこれまでも見ただき、『もちま

き』の人気の高さに圧倒されたのは、

言うまでもありません。また、もう一

つの目玉として企画させていただきました

秋山紗希さんと中村結さんのコラボ

アステージについても、室内開催となり

入ったよー

今月の新刊(佐々並図書室情報)
『ツミテミツク』

著：一穂ミチ
パペーミツクが舞台の短編集。この1冊を読めば2023年を簡単に思い出し出せそうなくらい話題もいろいろと盛りだくさん。

『第171回 直木賞受賞作』

『青嵐の旅人 上』

著：天童荒太

じき戦力起さる...きつと起さる

激闘の幕末の伊予松山藩。

戦を厭う娘にスライ、医の道で人を助ける救吉、

若き武士辰之進。霊泉の湧く故郷を守るため、

若者たちが立ち上げる！。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

今月のわくわく号

3日(火)・17日(火)

※ 活性化センター前 10：40～11：10

佐々並の今

(令和6年11月1日現在)

世帯数	261戸
男性	253人
女性	265人
合計	518人
(前月比)	±0人
65歳以上割合	58.5%

ぎょうじよてい

○12月7(土) 午後1時～

旭駅伝大会

マルチメデアアセンタースタートゴール

○12月13日(金) 午前10時～12時

行政相談

会場：旭活性化センター

◎年末年始のごみの収集は、
「ごみ収集カレンダー」
でご確認ください

とまわ会アルミ缶収集

今年度最後のアルミ缶収集を下記の
日程で行いますので、皆様の協力
をお願いいたします。

記

日 時：12月18日(水)

午前9時～

場 所：商工会前車庫

※会員さんは、地域への声掛けを
お願いいたします。

迎春準備のお知らせ

日 時：12月24日(火)

午後1時30分～

会 場：旭活性化センターホール

会 容：①しめ飾りづくり

②花の寄せ植え

佐々並小児童・先生方と寿クラブのみ
なさんとの今年最後の交流になります。
新しい年を迎える準備でもありますの
で、多数ご参加お待ちしております。

「振り返し」



今年も残すところあと一月あまりとなり
ましたが皆さんはどんな一年を過ごされた
のでしょうか？私は普通に良い一年だった気
がします。良いことが多すぎて書ききれな
いと言いか、なかなか思い出せない...。残念なこと
もあつた訳で、こゝで報告させていただきます
です。

一つ目は、職域球技大会で怪我をされた
方がいらつしやつたこと。全体での準備体操
を行わなかつた事が怪我に繋がつてしまつた
のでは...と反省しきり。けがをされた方
には大変申し訳ないことをしてしまいました
た。

二つ目は、大変楽しみにされていた方も多
かつたと思う空山ウオーキング大会。十月下
旬にも関わらず発生した季節外の台風の
せいでやむなく中止に。前日から当日正午
まで避難所も開設されるほどの大雨で「踏
んだり蹴ったり」。来年は是非リベンジを！
三つ目は、先日行われた「秋のささなみま
ちじゅうまつり」。当日の天候が心配される
中、曇り空ながら開催でき一安心。最後まで
で持ってくれば...と。しかし、残念なこ
とに昼から雨が降り始め、「歌うま紗季さ
んとけん玉結さん」のコラボが...。

急遽、会場をホールに変更するはめに。そ
れでも二人は精一杯ステージを盛り上げて
くれて感謝しかありません。出来ることな
ら外で「歌」や「技」を披露してもらい、多
くの方々に感動していただきたかつた...。
残念ながら...とは反省し、来年に生かして
いかねば...と心に誓つた今日この頃。